

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
児童発達支援事業所 Wao!		2026年 3月 1日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		・身辺自立においては適切。 ・空間を広く使えるように、都度物を出し入れしたり、外部の体育館や公園等も利用している。 ・活動内容に応じて、外や外部の施設を利用しながらスペースを確保している。	・広さが必要な遊びは工夫が必要。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		・配置数に合わせた活動の提供を工夫している。	・もう少し職員数が増えるとよい。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		・子供の目線で情報を受け取りやすいようにイラストや名前等で示している。 ・段差については職員の直接支援で行っている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		・毎日清掃・消毒はしている。活動時の刺激にならないよう使用するもの以外は収納している。 ・送迎車両の車内清掃・消毒は毎日行っている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		・活動や状況に応じて使用できている。	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	1	・ミーティングでこまめに話し合い、次の改善策を立て繋げている。 ・普段から話している。 ・自分自身、業務に対しての振り返り・改善が十分にできていないことがある。	・目標設定段階からの参画機会のさらなる充実や、意見が改善につながった過程の可視化を図ることでより主体的かつ継続的な業務改善体制の構築に努めていく。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			・いただいたご意見を業務改善へより具体的に反映するとともに、その改善内容を保護者および職員間で共有する取組をさらに充実させていく。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・面談の機会があり、提案等を伝えることができている。 ・まだ不十分ではあるが、ミーティングは週1~2回行っている。 ・毎日の打ち合わせやミーティング等で話し合いがされている。 ・みんなが意見を言うことができるとさらに良い。	・新任職員や経験の浅い職員も安心して意見を出せる環境づくりをしていく。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	2	・外部評価を行っているかわからない。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		・外部研修やオンライン研修を受講できている。 ・外部研修や法人内研修と併せて、オンライン研修サービスを使った研修をしている。 ・ST訓練はとても勉強になった。	
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		・一人ひとりについて、今までのことも含めて更に知っていくため、個人ファイルなどを確認している。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		・作成時には十分話し、子どもについて理解を深められている。	・引き続き、努力していく。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1	・ミーティングで報告したり、PCの共有ファイルから確認ができる。 ・常に計画を頭に入れながら支援ができている人は少数だと思う。	・全職員が計画の内容やねらいをより深く理解し、日々の支援の中で具体的に実践できるよう、定期的な確認や振り返りの機会をさらに充実させていく。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7			

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	・行っているものもあればそうでないものもあると思う。	・子どもの発達段階や個別支援計画との関連をより明確にしながら、全職員が意見を出し合い、計画から振り返りまで継続的に参画できる体制をさらに充実させていく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		・全体的には工夫されている。	・自分自身のレパトリーも増やしていきたい。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		・ST・学習などの個別活動やリトミックや集団遊びなど取り入れ支援をしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2	・話し合えることもあるが、「必ず」は難しく、振り返りができない時もある。 ・空き時間に職員同士で話すことができています。 ・必ずではないが、気になることや保護者の様子など話せている。	・すべての職員が確実に参加し、子どもの姿や支援のねらいを踏まえた具体的な気づきや改善点を継続的に共有できるよう、打合せの時間の確保や記録・共有方法をさらに充実させていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	1	・記録は取れているが検証、改善までやれないこともある。	・記録内容を支援の検証や具体的な改善につなげるため、子どもの変化や支援の意図・結果をより明確に記載し、職員間で共有・振り返りを行う仕組みをさらに充実させていく。
関係機関や保護者との連携	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	2		・子どもの日々の様子や小集団での変化をより丁寧に分析し、職員間で共有しながら見直しの必要性を検討する機会をさらに充実させ、児童発達支援計画へより適切に反映していく体制の強化を図る。
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		・他機関との連携が必要な時には必ず行っている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		・必要に応じて児発管を中心に連携を取っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		・保育所等訪問支援事業との連携により、情報共有や共通理解を図りながら併行利用・移行に向けた支援を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		・かけはしシートを利用し、情報を繋げていく。 ・かけはしシートを利用して対面での話し合いの機会を設けている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		7	・連絡会に参加。	

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	3	・他事業所と合同で活動を行っている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		・送迎時や必要に応じて面談や電話連絡を行っている。 ・保護者とお話する機会は多く、ST訓練の様子を口頭やノートで伝えることができている。 ・保護者も事業所に信頼をおいてくれていると感じることができている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1	・親子通所日を月1回設けている。 ・家族向けの講座や情報提供の機会がある。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		・面談にて確認をしている。	・こどもの思いや日常の様子をより丁寧に汲み取りながら、保護者との対話を通して意向を継続的に確認し、こどもの最善の利益をより一層反映した計画作成につなげていく取組をさらに充実させていく
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		・必要に応じて行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	1	・親子通所日などで、兄弟の参加も認めていて交流の機会が設けられている。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		・月1回のお便り(Wao!だより)・ホームページでのブログ・写真共有サイトなどで発信している。	・ブログを担当しているが、内容など工夫していきたい。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3	・現在行事等に地域の方々を招待する機会はないが、防災上での避難協力はしている。	・情報発信の機会をさらに充実させ地域との交流を通して子どもが安心して地域の中で育つことができる環境づくりをより一層進めていく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		・契約時に説明している。 ・訓練は毎月行っていて、Wao!だよりで報告している。	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	・医師の指示書ではなく保護者への確認によって行っている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			

51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>紙面での回覧と併せて、ミーティングで報告・対策に向けて話し合いをしている。</li> <li>都度、原因や対策を話し合い、支援に活かすことができていると思う。</li> </ul>	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>身体拘束を行うケースは今現在ない。</li> </ul>	